

# クリーンエネルギーと暮らそう

## エコカー普及へ 京都市が助成金

京都市は27日、電気自動車などのエコカーを普及させるため、09年度からタクシーやレンタカー事業者を対象に購入費用を助成すると発表した。府と共同で取り組み、電気自動車なら計60万円、コンセントで充電できるプラグインハイブリッド車なら計30万円を助成する。

観光に携わる業種に優先的にエコカーを導入してもらうことで、京都を訪れた観光客に市全体での環境への取り組みをアピールする狙い。

市はエコカー助成のほか、市内の公共施設35カ所に無料の充電設備を設けたり、電気自動車を導入する企業に費用を融資したりする制度も始める。市も電気自動車5台を公用車として購入する方針。一連の取り組みのため09年度予算に約4千万円を計上する。

太陽電池パネルの裏に、園児が名前や絵を描いた。伏見区の向島保育園



## 「おひさま発電所」完成

伏見区の向島保育園

伏見区向島の向島保育園に、太陽電池パネルで電気を供給する設備「おひ

さま発電所」が完成した。27日には園児や保護者約200人を集めて、発電量表示盤のお披露目や電飾をともし完成式が開かれた。

「発電所」は、子どもたちや地域の人々にクリーンエネルギーの大切さや二酸化炭素の削減対策について考えてもらおうと、NPO法人きょうとグリーンファンドが企画した。これまで府内の保育園や幼稚園に11基設置している。今回は園児の保護者や地域住民に寄付を募り、電池パネル144枚を同園の屋根に設置。一般家庭3軒分程度の消費電力をまかなうことができるという。

園児たちは地球温暖化問題をやさしく説明する腹話術の講演を見た後、資源節約を誓う「エコ宣言」をした。「僕もエコバッグ持っている」「テレビがつけばなしの時もあるよ」などと、身近な問題を口々に話していた。